

俳句

寒の水

木々朗

年の瀬や豊洲市場へ人分けて
大いなる市場に冴えゆる冬の月
侘助は個の花たるやほぐれとり
千両や縁起彩る大振りに
寒の水朝毎に飲みいきいきす

雑詠 極月

細田 安治

紅色くれないと黄金こがね織りなす極月きわめつき
ゆらゆらとさくら落ち葉の紅べにい筏かだ
汐とまり干満がつぶりせめぎあい
木枯らしに銀杏が吹雪く金の舞い
挨拶に何と書くのかカレンダー
平成の最後の歳になにのこす
気ぜわしきジングルベルや音おといらす



豊洲市場

出典： <http://www.shijou.metro.tokyo.jp/>